

第19期 決算公告

平成30年6月12日

埼玉県さいたま市大宮区吉敷町一丁目23番1号
株式会社データロン
代表取締役社長 馬場 浩之

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	272,219	流動負債	50,363
現金及び預金	213,938	買掛金	15,486
売掛金	37,578	未払法人税等	14,985
商品	16,622	未払費用	9,543
前払費用	522	未払金	967
繰延税金資産	3,556	未払消費税等	3,847
		預り金	2,212
		賞与引当金	3,320
固定資産	5,055	負債合計	50,363
有形固定資産	865	純資産の部	
工具器具備品	865	株主資本	226,911
		資本金	96,075
無形固定資産	4	資本剰余金	75,075
電話加入権	4	資本準備金	75,075
投資その他の資産	4,185	利益剰余金	55,761
差入保証金	4,185	その他利益剰余金	55,761
		繰越利益剰余金	55,761
		純資産合計	226,911
資産合計	277,274	負債及び純資産合計	277,274

(注)記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品

個別法による原価法

(貸借対照表価額は、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法によっている。

② 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法によっている。

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっている。

③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

② 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額を計上している。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっている。

2. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の種類及び株式数

普通株式

42 株

3. 当期純損益金額

当期純利益

32,849 千円

4. その他の注記

該当事項なし。